

【1月14日開催】海上交通の実現性検討に係る社会実験の実施概要

【公募による選定（運航）事業者】(株)マリン観光開発 ※事業名：那覇港第2クルーズバースを起・終点とする那覇港海域周遊

【事業概要】那覇港第2クルーズバースを起終点とする海上観光の可能性について、水中観光船を活用しブルーカーボングルーズを運航する。クルーズ船乗客へのサービスの利便性向上とともに、港内海上観光の更なる活性化が期待される。

【日時】

・令和7年1月14日(火) 14:00-16:00 (2回運航)

※クルーズ船「SPECTRUM OF THE SEAS」の寄港時に実施


【乗船者】

・クルーズ船の関係者（クルー等）、地元報道機関、沖縄観光コンベンションビューロー、内閣府沖縄総合事務局、那覇市ほか 計62名（うち、外国人48名）


【検証内容】

- ・クルーズ船の寄港に合わせて、第2クルーズバースを起点とした旅客航路事業を行えるかを検証。具体的には、乗船者の動線管理、制限区域における保安要員との連携、輸送に伴う安全確保（乗下船時を含む）など
- ・乗船プログラムの評価等、参加者へのアンケート調査を実施

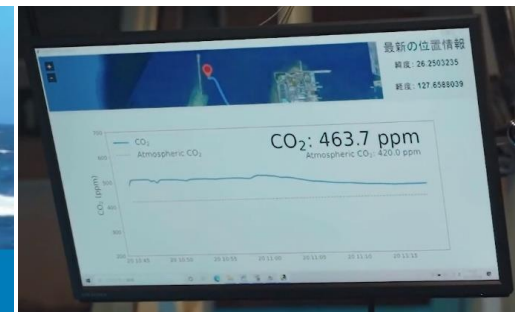
（乗船者の声） ※アンケート結果より

 ツアーの目的や重要性を説明する英語ガイドがツアーに同行してくれると非常にありがたい。海洋資源の啓発活動に努力している組織があることを知るの、いつも嬉しい経験です。

（フィリピン、50代）

 市街地から近くにとっても素晴らしいサンゴ礁がありました。観光方面から環境への普及啓発の取り組みが素晴らしいと思います。

（日本、50代）



↑観光船として初めてCO2測定装置を搭載

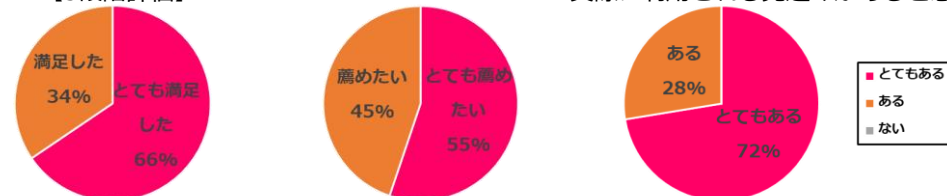
【運航ルート】 ※約40分間

・第2CB（起点）～ポイントAにて水中鑑賞～第2CB（終点）



＜乗船者アンケート結果＞ ※1/14実施分のみ集計。回答サンプル数=29

Q. 乗船体験に満足した【5段階評価】 Q. このコンテンツを人に勧めたいと思う【5段階評価】 Q. クルーズ岸壁からの海上交通は実際に利用される見込みがあると思う



【実験当日の様子】

I. 設営準備



II. 航行開始



III. 航行中（船内）

